

国立大学法人北海道大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p>Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>3 職員の人事の適正化に関する目標を達成するための措置</p> <p>①人事評価システムの整備・活用に関する具体的方策 (略)</p> <p>②柔軟で多様な人事制度の構築に関する具体的方策 (略)</p> <p>③任期制・公募制など教員の流動性向上に関する具体的方策 (略)</p> <p>④外国人・女性等の教員採用の促進に関する具体的方策 (略)</p> <p>⑤事務職員等の採用・養成・人事交流に関する具体的方策 (略)</p> <p>⑥中長期的観点に立った適切な人員（人件費）管理に関する具体的方策</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究科等における教授、助教授、講師及び助手に係る職や人員数、財源を流動化させ、研究科等がその戦略に基づき柔軟な教員編制としうるシステムを確立する。 助手等の職務実態が多様であることに鑑み、現状を調査・分析の上、職務内容に応じた処遇等その在り方についての見直し方策を検討し、平成16年度中を目途に結論を得る。 教育研究支援機能を充実するため、技術職員に係る組織や人材養成システム等の在り方についての見直し方策を検討し、平成16年度中を目途に結論を得る。 高度の専門性を有する業務に従事する職員を確保するため、教員、事務職員等従来の画一的職種区分にとられない職種を設定し、効果的な運用を図る。 <u>運営費交付金を原資とする職員の給与等の人件費総額については、当該交付金の積算内容を勘案した適切な管理を行う。</u> <p>(略)</p> <p>Ⅶ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>磁気共鳴断層撮影システム整備に必要な経費の長期借入れに伴い、本学病院の敷地及び建物について、担保に供する。</p> <p>北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション北管理部天塩研究林の土地の一部（北海道天塩郡幌延町，27，300㎡）を譲渡する。</p>	<p>Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>3 職員の人事の適正化に関する目標を達成するための措置</p> <p>①人事評価システムの整備・活用に関する具体的方策 (略)</p> <p>②柔軟で多様な人事制度の構築に関する具体的方策 (略)</p> <p>③任期制・公募制など教員の流動性向上に関する具体的方策 (略)</p> <p>④外国人・女性等の教員採用の促進に関する具体的方策 (略)</p> <p>⑤事務職員等の採用・養成・人事交流に関する具体的方策 (略)</p> <p>⑥中長期的観点に立った適切な人員（人件費）管理に関する具体的方策</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究科等における教授、助教授、講師及び助手に係る職や人員数、財源を流動化させ、研究科等がその戦略に基づき柔軟な教員編制としうるシステムを確立する。 助手等の職務実態が多様であることに鑑み、現状を調査・分析の上、職務内容に応じた処遇等その在り方についての見直し方策を検討し、平成16年度中を目途に結論を得る。 教育研究支援機能を充実するため、技術職員に係る組織や人材養成システム等の在り方についての見直し方策を検討し、平成16年度中を目途に結論を得る。 高度の専門性を有する業務に従事する職員を確保するため、教員、事務職員等従来の画一的職種区分にとられない職種を設定し、効果的な運用を図る。 <u>総人件費改革の実行計画を踏まえ、平成21年度までに概ね4%の人件費の削減を図る。</u> <p>(略)</p> <p>Ⅶ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>磁気共鳴断層撮影システム整備に必要な経費の長期借入れに伴い、本学病院の敷地及び建物について、担保に供する。</p> <p>北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション北管理部天塩研究林の土地の一部（北海道天塩郡幌延町，27，300㎡）を譲渡する。</p> <p><u>北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション北管理部雨龍研究林の土地の一部（北海道雨竜郡幌加内町，45，995.04㎡）を譲渡する。</u></p>	<p>「行政改革の重要方針」（平成17年12月24日閣議決定）の一部として策定された総人件費改革の実行計画に基づき、人件費削減の取組を行うため。</p> <p>「国土交通省」から公共事業としての河川改修に伴う敷地確保のため土地譲渡についての要望があり、これに応諾するため。</p>

北海道大学-1

現 行			変 更 案			変 更 理 由
別 表 (収容定員)			別 表 (収容定員)			
平 成 18 年 度	文学部	760人	文学部	760人		
	教育学部	220人	教育学部	220人		
	法学部	860人	法学部	860人		
	経済学部	760人	経済学部	760人		
	理学部	1,200人	理学部	1,200人		
	医学部	1,150人 (うち医師養成に係る分野 590人)	医学部	1,150人 (うち医師養成に係る分野 590人)		
	歯学部	360人 (歯科医師養成に係る分野)	歯学部	360人 (歯科医師養成に係る分野)		
	薬学部	320人	薬学部	320人		
	工学部	2,700人	工学部	2,700人		
	農学部	860人	農学部	860人		
	獣医学部	240人 (獣医師養成に係る分野)	獣医学部	240人 (獣医師養成に係る分野)		
	水産学部	860人 (うち水産教員養成に係る分野 <u>60人</u>)	水産学部	860人 (うち水産教員養成に係る分野 <u>45人</u>)		水産学部改組に伴う変更。
		文学研究科	413人 (うち修士課程 236人 博士後期課程 177人)	文学研究科	413人 (うち修士課程 236人 博士後期課程 177人)	
	教育学研究科	153人 (うち修士課程 90人 博士後期課程 63人)	教育学研究科	153人 (うち修士課程 90人 博士後期課程 63人)		
	法学研究科	385人 (うち修士課程 40人 博士後期課程 45人 専門職学位課程 300人)	法学研究科	385人 (うち修士課程 40人 博士後期課程 45人 専門職学位課程 300人)		

現 行			変 更 案			変更理由
平成18年度	経済学研究科	156人 （うち修士課程 60人 博士後期課程 56人 専門職学位課程 40人）	経済学研究科	156人 （うち修士課程 60人 博士後期課程 56人 専門職学位課程 40人）		
	理学研究科	744人 （うち修士課程 432人 博士後期課程 312人）			理学研究科の廃止。	
	医学研究科	480人 （うち修士課程 40人 博士課程 440人）	医学研究科	480人 （うち修士課程 40人 博士課程 440人）		
	歯学研究科	168人（博士課程）	歯学研究科	168人（博士課程）		
	薬学研究科	146人 （うち修士課程 86人 博士後期課程 60人）			薬学研究科の廃止。	
	工学研究科	962人 （うち修士課程 680人 博士後期課程 282人）	工学研究科	962人 （うち修士課程 680人 博士後期課程 282人）		
	農学研究科	451人 （うち修士課程 258人 博士後期課程 193人）			農学研究科の廃止。	
	獣医学研究科	96人（博士課程）	獣医学研究科	96人（博士課程）		
	国際広報メディア研究科	96人 （うち修士課程 54人 博士後期課程 42人）	国際広報メディア研究科	96人 （うち修士課程 54人 博士後期課程 42人）		
	情報科学研究科	480人 （うち修士課程 354人 博士後期課程 126人）	情報科学研究科	480人 （うち修士課程 354人 博士後期課程 126人）		
	水産科学院	290人 （うち修士課程 180人 博士後期課程 110人）	水産科学院	290人 （うち修士課程 180人 博士後期課程 110人）		
	環境科学院	506人 （うち修士課程 322人 博士後期課程 184人）	環境科学院	506人 （うち修士課程 322人 博士後期課程 184人）		
公共政策学教育部	60人（専門職学位課程）	公共政策学教育部	60人（専門職学位課程）			

現 行		変 更 案		変更理由
平成18年度		平	理学院 712人 (うち修士課程 419人 博士後期課程 293人)	理学院の新設。
		成	農学院 460人 (うち修士課程 279人 博士後期課程 181人)	
平成19年度		平	生命科学院 260人 (うち修士課程 178人 博士後期課程 82人)	生命科学院の新設。
		成	専攻科助産学特別専攻 20人	
平成19年度	文学部 760人 教育学部 220人 法学部 850人 経済学部 760人 理学部 1,200人 医学部 1,350人 (うち医師養成に係る分野 590人) 歯学部 360人 (歯科医師養成に係る分野) 薬学部 320人 工学部 2,700人 農学部 860人 獣医学部 240人 (獣医師養成に係る分野) 水産学部 860人 (うち水産教員養成に係る分野 60人)	平	文学部 760人 教育学部 220人 法学部 850人 経済学部 760人 理学部 1,200人 医学部 1,350人 (うち医師養成に係る分野 590人) 歯学部 360人 (歯科医師養成に係る分野) 薬学部 320人 工学部 2,700人 農学部 860人 獣医学部 240人 (獣医師養成に係る分野) 水産学部 860人 (うち水産教員養成に係る分野 30人)	水産学部改組に伴う変更。
	文学研究科 413人 (うち修士課程 236人 博士後期課程 177人) 教育学研究科 153人 (うち修士課程 90人 博士後期課程 63人) 法学研究科 385人 (うち修士課程 40人 博士後期課程 45人 専門職学位課程 300人)	年	文学研究科 413人 (うち修士課程 236人 博士後期課程 177人) 教育学研究科 153人 (うち修士課程 90人 博士後期課程 63人) 法学研究科 385人 (うち修士課程 40人 博士後期課程 45人 専門職学位課程 300人)	

現 行				変 更 案				変 更 理 由
平成19年度	経済学研究科	145人	うち修士課程 60人 博士後期課程 45人 専門職学位課程 40人	経済学研究科	145人	うち修士課程 60人 博士後期課程 45人 専門職学位課程 40人	理学研究科の廃止。 薬学研究科の廃止。 農学研究科の廃止。	
	理学研究科	744人	うち修士課程 432人 博士後期課程 312人					
	医学研究科	480人	うち修士課程 40人 博士課程 440人	医学研究科	480人	うち修士課程 40人 博士課程 440人		
	歯学研究科	168人	(博士課程)	歯学研究科	168人	(博士課程)		
	薬学研究科	146人	うち修士課程 86人 博士後期課程 60人					
	工学研究科	935人	うち修士課程 680人 博士後期課程 255人	工学研究科	935人	うち修士課程 680人 博士後期課程 255人		
	農学研究科	444人	うち修士課程 258人 博士後期課程 186人					
	獣医学研究科	96人	(博士課程)	獣医学研究科	96人	(博士課程)		
	国際広報メディア研究科	96人	うち修士課程 54人 博士後期課程 42人	国際広報メディア研究科	96人	うち修士課程 54人 博士後期課程 42人		
	情報科学研究科	480人	うち修士課程 354人 博士後期課程 126人	情報科学研究科	480人	うち修士課程 354人 博士後期課程 126人		
水産科学院	285人	うち修士課程 180人 博士後期課程 105人	水産科学院	285人	うち修士課程 180人 博士後期課程 105人			
環境科学院	514人	うち修士課程 322人 博士後期課程 192人	環境科学院	514人	うち修士課程 322人 博士後期課程 192人			
公共政策学教育部	60人	(専門職学位課程)	公共政策学教育部	60人	(専門職学位課程)			

現 行		変 更 案		変更理由
平成19年度		平成19年度	理学院 <u>680人</u> (うち修士課程 <u>406人</u> 博士後期課程 <u>274人</u>) 農学院 <u>462人</u> (うち修士課程 <u>300人</u> 博士後期課程 <u>162人</u>) 生命科学院 <u>374人</u> (うち修士課程 <u>270人</u> 博士後期課程 <u>104人</u>)	理学院の新設。 農学院の新設。 生命科学院の新設。
平成20年度	文学部 760人 教育学部 220人 法学部 850人 経済学部 760人 理学部 1,200人 医学部 1,350人 (うち医師養成に係る分野 590人) 歯学部 360人 (歯科医師養成に係る分野) 薬学部 320人 工学部 2,700人 農学部 860人 獣医学部 240人 (獣医師養成に係る分野) 水産学部 860人 (うち水産教員養成に係る分野 <u>60人</u>)	平成20年度	文学部 760人 教育学部 220人 法学部 850人 経済学部 760人 理学部 1,200人 医学部 1,350人 (うち医師養成に係る分野 590人) 歯学部 360人 (歯科医師養成に係る分野) 薬学部 320人 工学部 2,700人 農学部 860人 獣医学部 240人 (獣医師養成に係る分野) 水産学部 860人 (うち水産教員養成に係る分野 <u>15人</u>)	水産学部改組に伴う変更。
平成20年度	文学研究科 413人 (うち修士課程 236人 博士後期課程 177人) 教育学研究科 153人 (うち修士課程 90人 博士後期課程 63人) 法学研究科 385人 (うち修士課程 40人 博士後期課程 45人 専門職学位課程 300人) 経済学研究科 145人 (うち修士課程 60人 博士後期課程 45人 専門職学位課程 40人)	平成20年度	文学研究科 413人 (うち修士課程 236人 博士後期課程 177人) 教育学研究科 153人 (うち修士課程 90人 博士後期課程 63人) 法学研究科 385人 (うち修士課程 40人 博士後期課程 45人 専門職学位課程 300人) 経済学研究科 145人 (うち修士課程 60人 博士後期課程 45人 専門職学位課程 40人)	

現 行		変 更 案		変更理由
平成20年度	理学研究科	744人	(うち修士課程 432人 博士後期課程 312人)	理学研究科の廃止。
	医学研究科	480人	(うち修士課程 40人 博士課程 440人)	
	歯学研究科	168人	(博士課程)	
	薬学研究科	146人	(うち修士課程 86人 博士後期課程 60人)	薬学研究科の廃止。
	工学研究科	935人	(うち修士課程 680人 博士後期課程 255人)	農学研究科の廃止。
	農学研究科	444人	(うち修士課程 258人 博士後期課程 186人)	
	獣医学研究科	96人	(博士課程)	
	国際広報メディア研究科	96人	(うち修士課程 54人 博士後期課程 42人)	
	情報科学研究科	480人	(うち修士課程 354人 博士後期課程 126人)	
	水産科学院	285人	(うち修士課程 180人 博士後期課程 105人)	
環境科学院	514人	(うち修士課程 322人 博士後期課程 192人)		
公共政策学教育部	60人	(専門職学位課程)	理学院の新設。	
		理学院	661人 (うち修士課程 406人 博士後期課程 255人)	

北海道大学-7

現 行			変 更 案			変更理由	
平成 20 年 度			平成 20 年 度	農学院	450人	うち修士課程 300人 博士後期課程 150人	農学院の新設。
				生命科学学院	396人	うち修士課程 270人 博士後期課程 126人	生命科学学院の新設。
平 成	文学部 760人 教育学部 220人 法学部 850人 経済学部 760人 理学部 1,200人 医学部 1,350人 (うち医師養成に係る分野 590人) 歯学部 360人 (歯科医師養成に係る分野) 薬学部 320人 工学部 2,700人 農学部 860人 獣医学部 240人 (獣医師養成に係る分野) 水産学部 860人 (うち水産教員養成に係る分野 60人)		平 成	文学部 760人 教育学部 220人 法学部 850人 経済学部 760人 理学部 1,200人 医学部 1,350人 (うち医師養成に係る分野 590人) 歯学部 360人 (歯科医師養成に係る分野) 薬学部 320人 工学部 2,700人 農学部 860人 獣医学部 240人 (獣医師養成に係る分野) 水産学部 860人			
21 年 度	文学研究科 413人 (うち修士課程 236人 博士後期課程 177人)		21 年 度	文学研究科 413人 (うち修士課程 236人 博士後期課程 177人)			
	教育学研究科 153人 (うち修士課程 90人 博士後期課程 63人)			教育学研究科 153人 (うち修士課程 90人 博士後期課程 63人)			
年	法学研究科 385人 (うち修士課程 40人 博士後期課程 45人 専門職学位課程 300人)		年	法学研究科 385人 (うち修士課程 40人 博士後期課程 45人 専門職学位課程 300人)			
度	経済学研究科 145人 (うち修士課程 60人 博士後期課程 45人 専門職学位課程 40人)		度	経済学研究科 145人 (うち修士課程 60人 博士後期課程 45人 専門職学位課程 40人)			水産学部改組に伴う変更。

北海道大学-8

現 行			変 更 案			変更理由
平成21年度	理学研究科	744人 (うち修士課程 432人 博士後期課程 312人)				理学研究科の廃止。
	医学研究科	480人 (うち修士課程 40人 博士課程 440人)	医学研究科	480人 (うち修士課程 40人 博士課程 440人)		
	歯学研究科	168人 (博士課程)	歯学研究科	168人 (博士課程)		
	薬学研究科	146人 (うち修士課程 86人 博士後期課程 60人)				薬学研究科の廃止。
	工学研究科	935人 (うち修士課程 680人 博士後期課程 255人)	工学研究科	935人 (うち修士課程 680人 博士後期課程 255人)		
	農学研究科	444人 (うち修士課程 258人 博士後期課程 186人)				農学研究科の廃止。
	獣医学研究科	96人 (博士課程)	獣医学研究科	96人 (博士課程)		
	国際広報メディア研究科	96人 (うち修士課程 54人 博士後期課程 42人)	国際広報メディア研究科	96人 (うち修士課程 54人 博士後期課程 42人)		
	情報科学研究科	480人 (うち修士課程 354人 博士後期課程 126人)	情報科学研究科	480人 (うち修士課程 354人 博士後期課程 126人)		
	水産科学院	285人 (うち修士課程 180人 博士後期課程 105人)	水産科学院	285人 (うち修士課程 180人 博士後期課程 105人)		
	環境科学院	514人 (うち修士課程 322人 博士後期課程 192人)	環境科学院	514人 (うち修士課程 322人 博士後期課程 192人)		
	公共政策学教育部	60人 (専門職学位課程)	公共政策学教育部	60人 (専門職学位課程)		
		理学院	661人 (うち修士課程 406人 博士後期課程 255人)		理学院の新設。	

北海道大学-9

現 行		変 更 案		変更理由
平成 21 年 度		平成 21 年 度	<u>農学院</u> 450人 (うち修士課程 300人 博士後期課程 150人) <u>生命科学学院</u> 396人 (うち修士課程 270人 博士後期課程 126人)	農学院の新設。 生命科学学院の新設。

北海道大学-10